

段階確認実施要領

令和3年4月1日

福岡県農林水産部

段階確認実施要領

1. 段階確認の趣旨

段階確認は、福岡県農林水産部の実施する県営工事において工事完了後に不可視となる部分等の手戻り防止のため、施工段階の確認事項（工種・細別・確認時期・確認項目）について、監督員等が立会により確認し、請負工事の適正な履行を確保するものである。

2. 段階確認の対象工種

段階確認は、段階確認一覧表の工種を標準とするが、監督員と請負者との協議により決定し実施することとする。

ただし、段階確認一覧表の工種であっても、中間検査で実施する場合があるため、監督員は事前に請負者に周知するものとする。

3. 段階確認の実施及び注意事項について

- ① 請負者は、工事着手にあたって「段階確認願」（別紙）を作成し、施工計画書に添付し、監督員に提出しなければならない。
- ② 請負者は、「段階確認願」に提出日、工事名、請負者名、工種、細別、確認予定場所及び確認予定日を記入する。
- ③ 請負者は、確認予定日に変更を生じた場合は、速やかに監督員へ連絡するものとする。
- ④ 変更により工種等に追加・削除を生じた場合は、その都度、「段階確認願」を提出する。
- ⑤ 請負者は、関係書類（出来形管理表、工事写真、品質管理表、試験成績表等を必要に応じて）を整備し、段階確認を受けるものとする。
- ⑥ 段階確認の写真管理は、該当項目の完了が判断できる写真とする。また、監督員が求める場合は監督員の確認状況写真を加えるものとする。
なお、写真には黒板を入れるものとし、工種、細別、確認日、確認項目、確認者を記入するものとする。
- ⑦ 監督員は、段階確認後、「段階確認書」に確認場所及び確認日を記入し、確認結果を「段階確認書」により復命するものとする。
- ⑧ 段階確認は、「土木工事施工管理基準*1」に基づき実施するものとする。
なお、規格値を満たさない場合は、請負者は監督員等からの指示がでるまで、次工程に着手することができない。
- ⑨ 段階確認において工場立会での確認を実施する場合は、別表「工場立会の確認基準」によるものとする。

*1 農業農村整備事業土木工事施工管理基準（農業農村整備）
農林水産部（水産林務関係）工事施工管理基準（水産林務）

別表 工場立会の確認基準

種 類	工 事 立 会 確 認 基 準
<p>1. 二次製品類</p> <p>① J I S 製品、J I S 同等品^{※1}及び 県規格製品^{※2}</p> <p>② J I S 規格外及び県規格外製品</p> <p>2. 鋼構造物類</p> <p>①鋼構造物類（農業農村整備関係） 水門設備 ゴム引布製起伏ゲート設備 除塵設備 鋼橋上部設備 水管橋上部設備 揚（用）排水ポンプ設備 ダム管理設備 電気設備 水管理制御設備</p> <p>②鋼構造物類（林務関係）</p> <p>③鋼構造物類（水産関係）</p>	<p>①原則として工場立会確認は行わない。 ただし、監督員が特に必要であると判断した場合はこの限りではない。</p> <p>※1 J I S 同等品とは、「材料使用承認願」に同等を証明できる「品質証明書」が添付されていること、または、各試験機関において J I S 試験が実施されており、その製品の品質が確認できるものをいう。</p> <p>※2 県規格製品とは、県土整備部が定めた統一型積ブロックの外、県が工場立会検査を実施している二次製品類及び福岡県認定リサイクル製品をいう。</p> <p>②「材料使用承認願」の添付書類（配筋、強度計算書、写真等）にて品質が確認できる場合は、工場立会確認は行わない。 ただし、「材料使用承認願」の添付書類にて品質が確認できない場合は、工場立会確認を行う。</p> <p>施設機械工事等施工管理基準（農林水産省農村振興局整備部設計課制定）「品質確認事項の分類」において A 分類として区分された項目のうち、<u>仮組立を行う場合、現場搬入後では構造、寸法等が確認出来ない場合や性能確認が出来ない場合は、工場立会確認行う。</u> ただし、その他監督員が必要であると判断した場合はこの限りではない。</p> <p>特に必要と判断されるものについては、工場立会確認を実施する。</p> <p>特に必要と判断されるものについては、工場立会確認を実施する。</p>

段階確認願（農業農村整備・水産関係） 段階確認書（農業農村整備・水産関係） 殿

共通仕様書第1-1-22に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。

令和 年 月 日

令和 年 月 日

起工番号
事業名
工事名

請負者

担当者	係員	係長	課長

工種	細別	確認予定場所	確認予定日	確認場所	確認日	確認者		サイン		
						監督員	係長以上	係員	係長	課長
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		現場 工場	・ ・	現場・工場 机上・遠隔現場	・ ・			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

段階確認願 (林務関係)

段階確認書 (林務関係)

請負者 現場代理人の氏名 殿 令和 年 月 日		請負者 現場代理人の氏名 令和 年 月 日									
共通仕様書第1-1-22に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。 起工番号 事業名 工事名		<table border="1"> <tr> <td>担当者</td> <td>係員</td> <td>係長</td> <td>課長</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>		担当者	係員	係長	課長				
担当者	係員	係長	課長								

工種	細別	確認予定場所	確認予定日	確認場所	確認日	確認者の氏名	特記事項等
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			
	現場	現場		現場・工場 机上・遠隔臨場			

※1 段階確認書は、段階確認毎に作成するものであり、請負者から提出された段階確認願をコピーし使用する。

※2 段階確認後は、当該項目に実施内容を記載し、その都度回覧する。

段階確認一覧表

工種	細別	確認時期	確認項目	区分
準備工	丁張（土工、構造物等）	設置完了時	位置、方向、BM高さ	
	伐採工	伐採完了時	本数、範囲	
	根株破砕工	完了時	数量、状況	
指定仮設工		施工完了時	使用材料の規格、延長、高さ、幅、長さ、深さ、間隔	○
道路土工	掘削工	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	
	路床盛土工	盛土完了時	ブルドーザ	
改良工（路床等）	路床安定処理工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ	
	路床置換工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ	
舗装工	下層路盤工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ	
	上層路盤工	施工完了時	基準高、施工幅、施工厚	
法面工	ネット張り工	ネット張り完了時	使用材料の規格、数量	
	客土吹付工			
	厚層基材吹付工	ラス張り完了時	使用材料の規格、数量	
	モルタル吹付工	材料配合時		
地盤改良工（構造物の基礎）		ラス張り完了時、鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、設計図書との対比	
		施工完了時	使用材料の規格、幅、延長、置換厚さ、支持地盤	○
矢板工（任意仮設を除く）	鋼矢板、鋼管矢板	打ち込み時	使用材料の規格、寸法等、溶接部の適否	
		打ち込み完了時	基準高、変位量	○
打込み杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打ち込み時	長さ、使用材料の規格 溶接部の適否	
		打ち込み完了時	基準高、偏心量	○
		掘削完了時（中掘工法）	掘削長さ	
		施工完了時（中掘工法）	基準高、偏心量	○
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	
埋込み杭工	リバース杭 アースドリル杭 深礎工（深礎杭） オールケーシング杭 大口径杭	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	
		掘削完了時	偏心量、杭径、長さ、支持地盤	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比	
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	○
		グラウト注入時（深礎杭工）	使用材料の規格、使用量配合、注入完了	
オープンケーソン工		全構造物製作後	厚さ、幅、高さ、長さ	
		全構造物設置後	基準高、偏位	○
擁壁工	擁壁工（無筋コンクリート）	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	
	擁壁工（鉄筋コンクリート） 橋台 橋脚	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	
	補強土壁工	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、間隔	
		施工完了時	設計図書との対比	○
		土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	
L型プレキャスト	床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤		
	基礎コンクリート完了時	幅、厚、延長		
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	○
橋梁工 PC橋	製品（JIS以外） 横締 縦締 配筋	製品出荷前	規格、寸法、配筋、品質、緊張	
		圧縮強度試験後	緊張	
		圧縮強度試験後	緊張	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	
躯体工		沓座の位置決定時	使用材料の規格、寸法、沓座の位置	
鋼橋		仮組立完了時（仮組立の省略となる場合を除く）	キャンバー、寸法等	○
地下水排除工	集排水ボーリング工 集水井工	削孔完了時	土（岩）質、基準高、寸法等	
		資材組立時	使用材料の規格、寸法等	
		施工完了時	基準高、寸法等	○
アンカー工 （ロックルト含む）		削孔完了時	削孔長、削孔角	
		アンカー体挿入時	使用材料の規格、寸法等	
トンネル掘削工		緊張定着時	適正試験、確認試験	○
トンネル掘削工		土質の変化時	土（岩）質、変化位置、支保パターン	
		土質の変化時	土（岩）質、変化位置、支保パターン	
トンネル支保工		支保工完了時（支保工変化毎）	吹付コンクリート厚 ロックルト打込本数及び長さ 鋼製支保工の間隔	
トンネル覆工	型枠（スライドセントル） 配筋 覆工厚	組立完了時	規格、寸法	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	○
トンネルインバート工		施工時（構造の変化毎）	設計図書との対比	
		鉄筋組立完了時 又は掘削完了時	設計図書との対比	
トンネル工 （NATM）	吹付コンクリート ロックボルト	施工初期・施工中期・施工完了時（タイプ変更毎）	厚さ	
		施工初期・施工中期・施工完了時（タイプ変更毎）	本数、径、長さ	

農業
農村
整備
事業
関係

段階確認一覧表

工種	細別	確認時期	確認項目	区分	
農業 農村 整備 事業 関係	ほ場整備	基盤造成	施工完了時	基準高（指定時）、均平度	
		表土整地	施工完了時	基準高（指定時）、均平度、 表土厚	
	農用地造成	テラス(階段畑) 道路工(耕作道)	側溝掘削時	側溝幅、側溝高さ	
		水路工	現場打開水路 現場打サイホン 現場打暗渠	床掘完了時	基準高、支持地盤
	鉄筋コンクリート 大型フリューム 鉄筋コンクリートL形水路 ボックスカルバート水路		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比	
			床掘完了時	基準高、支持地盤	
	河川および排水路	コンクリートブロック積み水路 鉄筋コンクリート柵渠	床掘完了時	基準高、支持地盤	
			基礎完了時	幅、高さ、中心線のズレ、施工延長	
	管水路	遠心力鉄筋コンクリート管 ダクタイル鑄鉄管 強化プラスチック複合管 硬質塩化ビニル管 鋼管	管布設時	基準高、 管種、施工延長	
			推進工事	立抗完了時	地質、 設計図書との対比
	畑かん施設	スプリンクラー	床掘完了時	埋設深	
	暗渠排水	吸水渠	布設完了時	上下流の布設深、間隔、施工延長	
		集水渠(支線)	布設完了時	上下流の布設深、施工延長	
		導水渠(幹線)	布設完了時	上下流の布設深、施工延長	
	フィルダム	監査廊(暗渠タイプ)	施工完成時	基準高、幅、厚さ、高さ、中心線のズレ、スパン長、 施工延長	○
			施工初期	ゾーン幅	
		堤体盛土	施工中		
		洪水吐	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比	
	頭首工	本体	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比、不可視となる構造物の厚さ（エプロン等）	
	ため池改修	堤体工	盛土高さ1/2完了時	堤幅	
洪水吐工		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比		
樋管工		施工完了時	基準高、厚さ、幅、高さ、中心線のズレ、 施工延長	○	
ボーリング工（グラウト）		ボーリング完了時	深度、偏心		
張ブロック工 腰ブロック工		床掘完了時	基準高、支持地盤		

※施設機械については農林水産省の基準に準じる。

※区分欄の○印は、係長以上の段階確認を原則とする。

※ゴシック体太字（朱書き）は遠隔臨場の対象とする。

※遠隔臨場の対象以外であっても確認するのに必要な情報を十分得ることができる場合は遠隔臨場に代えることができる。

段階確認一覧表

※「必須」は現場又は机上のいずれかにより必ず確認するもの(◎は係長以上の確認を原則とする)、「任意」は確認しない場合を可とするもの。

工種	細別	確認時期	確認項目	必須	任意	
準備工	丁張(土工、構造物等)	設置完了時	位置、方向、BM高さ	○		
	伐採工	伐採完了時	本数、範囲	○		
	根株破碎工	完了時	数量、状況		△	
指定仮設工		施工完了時	使用材料の規格、延長、高さ、幅、長さ、深さ、間隔	◎		
道路土工	掘削工	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置		△	
	路床盛土工	盛土完了時	ブルドーザリグ	○		
改良工(路床等)	路床安定処理工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザリグ	○		
	路床置換工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザリグ	○		
舗装工	下層路盤工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザリグ		△	
	上層路盤工	施工完了時	基準高、施工幅、施工厚		△	
法面工	ネット張り 客土吹付工	ネット張り完了時	使用材料の規格、数量		△	
	厚層基材吹付工	ラス張り完了時	使用材料の規格、数量		△	
	モルタル吹付工	材料配合時	使用材料の規格、数量		△	
	法枠工	ラス張り完了時 鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、設計図書との対比	○		
地盤改良工 (構造物の基礎)		施工完了時	使用材料の規格、幅、延長、置換厚さ、支持地盤	◎		
矢板工 (任意仮設を除く)	鋼矢板、鋼管矢板	打ち込み時	使用材料の規格、寸法等、溶接部の適否	○		
		打ち込み完了時	基準高、変位量	◎		
打込み杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打ち込み時	長さ、使用材料の規格 溶接部の適否	○		
		打ち込み完了時	基準高、偏心量	◎		
		掘削完了時(中掘工法)	掘削長さ	○		
		施工完了時(中掘工法)	基準高、偏心量	◎		
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	○		
埋込み杭工	リバース杭 アースドリル杭 深礎工(深礎杭) オールケーシング杭 大口径杭	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置	○		
		掘削完了時	偏心量、杭径、長さ、支持地盤	○		
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比	○		
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	◎		
		グラウト注入時(深礎杭工)	使用材料の規格、使用量配合、注入完了	○		
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	○		
オープンケーソン工		全構造物製作後	厚さ、幅、高さ、長さ	○		
		全構造物設置後	基準高、偏位	◎		
擁壁工	擁壁工(無筋コンクリート)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置		△	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤		△	
	擁壁工(鉄筋コンクリート) 橋台 橋脚	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置		△	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	○		
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、間隔	○		
	補強土壁工	L型プレキャスト	施工完了時	設計図書との対比	◎	
			土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置		△
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤		△	
		転圧完了時	ブルドーザリグ		△	
		基礎コンクリート完了時	幅、厚、延長		△	
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	◎		
橋梁工 PC橋	製品(JIS以外)	製品出荷前	規格、寸法、配筋、品質、緊張	○		
		横締	圧縮強度試験後	緊張	○	
		縦締	圧縮強度試験後	緊張	○	
		配筋	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	○	
躯体工		沓座の位置決定時	使用材料の規格、寸法、沓座の位置	○		
鋼橋		仮組立完了時(仮組立の省略となる場合を除く)	キャンバー、寸法等	◎		
地下水排除工	集排水ボーリング工 集水井工	削孔完了時	土(岩)質、基準高、寸法等	○		
		資材組立時	使用材料の規格、寸法等	○		
		施工完了時	基準高、寸法等	◎		
アンカー工 (ロックボルト含む)		削孔完了時	削孔長、削孔角	○		
		アンカー体挿入時	使用材料の規格、寸法等	○		
		緊張定着時	適正試験、確認試験	◎		
トンネル掘削工		土質の変化時	土(岩)質、変化位置、支保パターン	◎		
トンネル支保工		支保工完了時	吹付コンクリート厚	◎		
		(支保工変化毎)	ロックボルト打込本数及び長さ	◎		
			鋼製支保工の間隔	◎		
トンネル覆工	型枠(スライドセントル)	組立完了時	規格、寸法	◎		
	配筋	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	◎		
	覆工厚	施工時(構造の変化毎)	設計図書との対比	◎		
トンネルインパート工		鉄筋組立完了時 又は掘削完了時	設計図書との対比	◎		
トンネル工 (NATM)	吹付コンクリート	施工初期・施工中期・施工完了時 (タイプ変更毎)	厚さ	◎		
	ロックボルト	施工初期・施工中期・施工完了時 (タイプ変更毎)	本数、径、長さ	◎		

林務事業関係

段階確認一覧表

※「必須」は現場又は机上のいずれかにより必ず確認するもの(◎は係長以上の確認を原則とする)、「任意」は確認しない場合を可とするもの。

工種	細別	確認時期	確認項目	必須	任意		
林 務 事 業 関 係	管(函)渠工	ヒューム管	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置		△	
		重圧管	床掘完了時	地盤支持力、基準高、	○		
		ボックスカルバート	布設完了時	使用材料の規格、基準高、延長	◎		
			鉄筋組立完了時(RCの場合)	使用材料の規格、数量、間隔	◎		
	コンクリートダム(副ダムを含む)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置			△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○			
		型枠完了時(1段目)	幅、延長、法勾配			△	
		本堤完了時	天端高			△	
		上流の埋戻し完了後	埋戻し高さ			△	
		鋼製ダム(副ダムを含む) (鋼製自在枠) (スリットダム)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置			△
			床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○		
			中詰材施工初期段階	使用材料の規格、詰石状況	◎		
			スリット部材設置前	設置位置、使用材料の規格	○		
			本堤完了時	天端高			△
	上流の埋戻し完了後		埋戻し高さ			△	
	護岸工	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置			△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○			
		中詰材施工初期段階(カゴ枠等の場合)	使用材料の規格、詰石状況			△	
	土留工(コンクリート) (ブロック積) (鋼材・かご製品) (木製品)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置			△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○			
中詰材施工初期段階		使用材料の規格、詰石状況			△		
植栽工	植栽工	地拵え完了時	地拵え状況				
		苗木搬入時(苗木搬入が2回以上に亘る場合は、受種別に1回は立会する)	樹種、規格、本数				
		仮植時	仮植状況				

※ゴシック体太字(朱書き)は、遠隔臨場の対象とする。

※遠隔臨場の対象以外であっても、確認するのに必要な情報を十分得ることができる場合は、遠隔臨場に代えることができる。

段階確認一覧表

工種	細別	確認時期	確認項目	確認	
水産工 (漁港)	浚渫工・床堀工		土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置	
	地盤改良工	床堀・置換・敷砂・載荷工	完了時	使用材料・設計図書との対比	
		サンドドレーン ペーパードレーン サンドコンパクションパイ ル ロッドコンパクション 深層混合処理	施工完了時	使用材料の規格・打込長・基準高・ 施工位置	○
	基礎工	マット工	完了時	使用材料・設計図書との対比	
	基礎・被覆・根固・裏込 工	捨石投入・均し工	施工時	使用材料、寸法	
			完了時	設計図書との対比、基準高、幅、勾 配	○
	コンクリート工	鉄筋工	組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
		(蓋・上部)コンクリート 工	完了時	設計図書との対比	
		水中コンクリート工	完了時	設計図書との対比	
	ケーソン工	ケーソン製作工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
			完了時	外観、厚さ、幅、高さ、長さ	○
		ケーソン据付工	完了時	基準高、偏位	○
	コンクリートブロック工	ブロック製作工(方塊・異 形等)	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
			完了時	外観、厚さ、幅、高さ、長さ	○
		ブロック据付工(方塊・異 形等)	完了時	設計図書との対比	
	本体工	控工	打込完了時	設計図書との対比	○
			腹起取付完了時	設計図書との対比	○
			タイ材取付完了時	杭頭処理状況	○
	埋立・裏理工	埋立・裏理工	施工時	使用材料、設計図書との対比	
	付属工	係船柱・防舷材・係船環・ 車止・縁金物工	完了時	使用材料、設計図書との対比	
防食工			施工時	使用材料、設計図書との対比	
完了時		使用材料、設計図書との対比			
植生工	植生工	完了時	使用材料、設計図書との対比		
水産工 (漁場)	コンクリート魚礁	魚礁製作工	材料搬入時	規格、数量、寸法(遮蔽板等がある 時)	
			全数完成時、沈設前	数量、寸法、強度	○
		配筋工	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、寸法	
	鋼製魚礁	魚礁製作工	沈設工	使用材料の規格、位置、配置、数量	
			材料搬入時	規格、数量、寸法	
		溶接工	全数完成時、沈設前	数量、寸法、強度	○
	覆砂・投石工	覆砂・投石工	溶接完了時	溶接部の適否	
			沈設工	沈設時	使用材料の規格、位置、配置、数量
		海砂投入工	施工前	緯度・経度もしくは測角による施工 区域の確認	
			施工中	数量、投石の規格	
海底清掃	海底清掃工	施工中	状況確認		
		施工中	状況確認、均し機材の寸法		
		施工中	ごみの数量確認		

※確認欄の○印は、係長以上の段階確認を原則とする。

※ゴシック体太字(朱書き)は、遠隔臨場の対象とする。

※遠隔臨場の対象以外であっても、確認するのに必要な情報を十分得ることができる場合は、遠隔臨場に代えることができる。